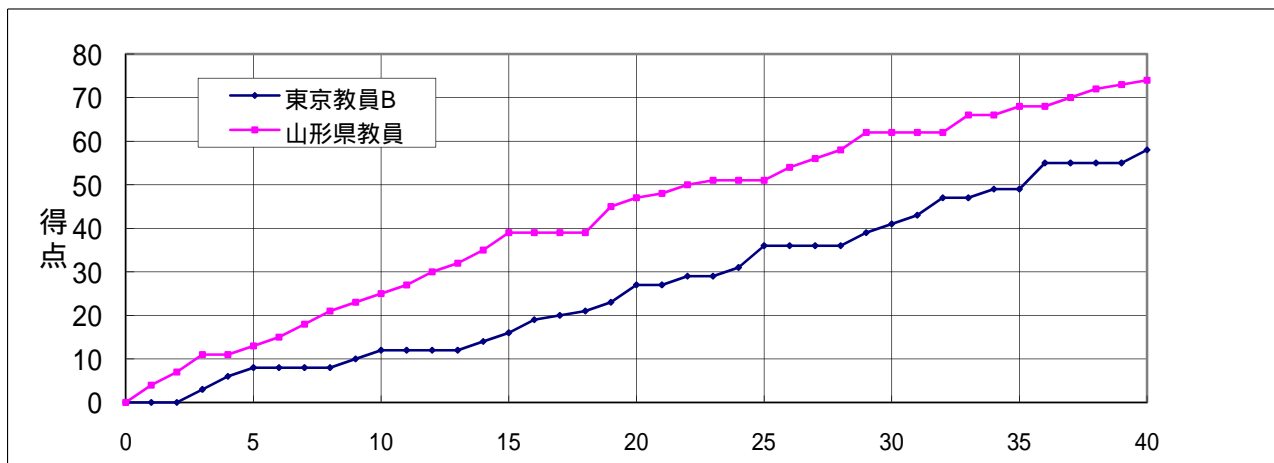


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	09A1	11:00	男子1回戦											
	期日	2010年(平成22年)8月9日(月)	東京教員B 58 (東京都)	74	山形県教員 (山形県)										
					<table border="1"> <tr><td>12</td><td>-</td><td>25</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	12	-	25	15	-	22	14	-	15	17
12	-	25													
15	-	22													
14	-	15													
17	-	12													
-	-	-													
会場	ソルトアリーナ防府	主審 河村正夫 副審 勝原芳徳													



タイム・アウト(経過時間)						
1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2		
-	-	25:47	-	-	-	-

東京教員B											
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As			
4	丸山智賀男	-	-	-	-	-	-	-			
6	細谷健二	-	-	-	-	-	-	-			
7	星陽久(C)	0	0	0	0	0	0	0			
16	*佐藤裕士	12	2	1	4	5	1	1			
11	水町周義	8	2	1	0	1	0	0			
24	曾根原安積	0	0	0	0	1	1	0			
20	高野恭平	-	-	-	-	-	-	-			
51	*松村忠昭	10	0	5	0	1	5	0			
56	*照屋健吾	8	0	4	0	3	1	1			
28	*村上慶彦	9	1	3	0	2	3	0			
77	*亀川敬	2	0	1	0	4	1	0			
62	青柳博也	9	0	4	1	0	1	0			
35	小川圭	-	-	-	-	-	-	-			
18	小嶋隆司	-	-	-	-	-	-	-			
コーチ 細谷健二		/	/	/	/	/	/	/			
		合計	58	5	19	5	17	13	2		

タイム・アウト(経過時間)						
1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2		
06:43	15:42	33:28	35:54	-	-	-

山形県教員											
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As			
4	安達祐	-	-	-	-	-	-	-			
5	*田口雅人(C)	6	0	3	0	4	5	0			
6	*伊藤徳哉	27	7	2	2	1	2	0			
7	佐藤友大	-	-	-	-	-	-	-			
8	*熊谷圭太	15	1	5	2	3	14	2			
9	木村歩	-	-	-	-	-	-	-			
10	菊池洋介	-	-	-	-	-	-	-			
11	*芳賀智三	1	0	0	1	4	0	0			
12	諏訪重義	-	-	-	-	-	-	-			
13	*加藤和彦	25	0	10	5	1	6	0			
14	廣瀬辰平	-	-	-	-	-	-	-			
15	須田倫信	-	-	-	-	-	-	-			
16	佐々木慎司	-	-	-	-	-	-	-			
17	林部和貴	-	-	-	-	-	-	-			
18	菅井貴也	-	-	-	-	-	-	-			
コーチ 萩原晴菜		/	/	/	/	/	/	/			
		合計	74	8	20	10	13	27	2		

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

両チームハーフコートマンツーマン。山形リズムのよい攻撃から連続で11得点。東京はシュートは打つがなかなか決まらず3分間無得点。0-11。ここから、東京#28、#16の連続3Pで流れを引き寄せるが、山形はインサイド、3Pを絡め着実に得点を重ねる。東京は選手を交代しながら、攻撃のリズムを変えたいところだが、イージーシュートを決めきれず加点できない。25-12の山形リードで1Q終了。2Q始まって、流れは変わらず、#6の3P2本などで連続10得点。山形は、タイムアウトを有効に使いながら、ゲームをコントロール。47-27の山形リードで前半終了。3Q、東京はディフェンスでプレッシャーをかけるが、3分でチームファウルが5つとなり、山形にフリースローで加点される。疲れの見える山形のオフェンスがうまくいかないところで、東京が速攻を出す、うまく加点できない。3Q、62-41で山形リードのまま。4Qに入り、東京のプレッシャーマンツーマンが効き、山形がパスミスを連発、東京が連続6得点を挙げる。しかし、山形が要所でフリースローで加点をし、なんとか凌ぐ。東京も最後の粘りで頑張るが追いつけず、74-58で山形が勝利した。ベンチメンバーが5人の山形ではあったが、タイムアウトを絡めうまくゲームコントロールし、#6の7本の3P、#8のリバウンド、#13の1対1などが目立つゲームとなった。

記者 柴崎太志 (所属) 山口県バスケットボール協会